

## 佐賀県のスモン検診 19年間の推移

原 英夫 (佐賀大学医学部内科神経内科)

江里口 誠 (佐賀大学医学部内科神経内科)

雪竹 基弘 (高邦会 高木病院神経内科)

南里 悠介 (JCHO 佐賀中部病院脳神経内科・リハビリテーション科)

### 研究要旨

佐賀県在住のスモン患者のうち、継続してスモン検診を受診したスモン患者について、検診結果・療養状況等の10年および19年での変化を検討した。平成12年度において検診対象者は24名(男性4名、女性20名)、平成21年度は14名(男性4名、女性10名)、平成30年度は6名(男性1名、女性5名)となっていた。30年度の対象者のうち、検診希望者は3名(すべて女性)であった。検診希望者の減少(主に死亡による)は訪問検診の方に目立った。検診対象者および受診者の平均年齢はこの10年、19年で検診対象者:77.7歳 83.6歳 89.3歳、検診受診者:77.1歳 82.2歳 86.7歳であった。平成30年度の検診受診者3名すべて在宅療養者であったが、複数の併発症に罹患しており、定期受診している病院での検診を希望された。

### A. 研究目的

全国の傾向と同様に、佐賀県においてもスモン患者の高齢化がさらに進んでいる。平成12年度より検診方法の変更を行い、本年度で19年が経過した。平成21年度に10年の検診結果の変化を報告しているが、その後の9年の推移を新たに比較検討し、超高齢化に入った本県のスモン患者の現状と患者動静の検討を報告する。

### B. 研究方法

佐賀県在住のスモン患者のうち、継続してスモン検診を受診したスモン患者について、検診結果・療養状況等の10年および19年での変化を検討した。検診は病院検診および訪問検診でおこなった。

検診結果はデータ解析・発表に同意する旨を記載されたスモン現状個人調査票を利用した。

(倫理面への配慮)

今回の研究のデータ解析等に関しては平成30年度のスモン現状調査票作成時に口頭もしくは署名で「デー

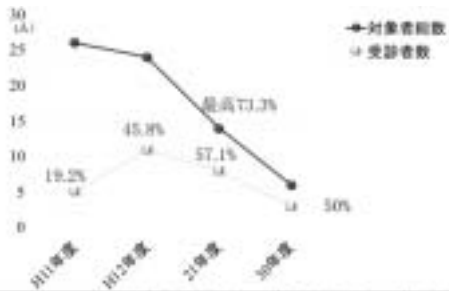
タ解析に同意する」の意思を示された方のデータを使用した。発表にあたっては、匿名化で個人が特定できないように配慮した。

### C. 研究結果

平成12年度において検診対象者は24名(男性4名、女性20名)と、佐賀県の全患者数として登録されていた人数(48名)の1/2まで減少していた。平成21年度は14名(男性4名、女性10名)、平成30年度は6名(男性1名、女性5名)となっていた。30年度の対象者のうち、拒否2名、他県での検診1名であり、検診対象者は3名(すべて女性3名)であった(図1)。

検診対象者および受診者の高齢化は進んでおり、この10年、19年で平均年齢は検診対象者:77.7歳 83.6歳 89.3歳、検診受診者:77.1歳 82.2歳 86.7歳となった(図1)。

平成12年度から検診を訪問検診主体にしたことで、当初は検診者数の増加が著明だったが(19.2% 45.8%)、その後は検診者数自体の死亡による減少が目立っ



	平成12年度	平成21年度	平成30年度
佐賀県での検診対象者数	24名 (M.F. 4.20)	14名 (M.F. 4.10)	6名 (M.F. 1.5)
検診対象者の平均年齢	77.7	83.6	89.3
検診受診者数	11名	8名	3名
検診受診者の平均年齢	77.1	82.2	86.7

図1 検診対象者および受診者数の19年間の推移

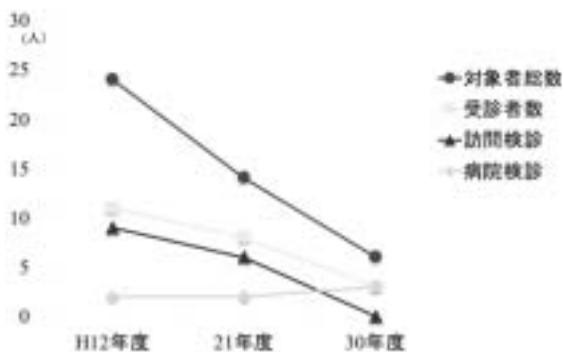


図2 検診受診者の19年間の移  
検診受診者の減少は訪問検診者の減少による

表 平成30年度検診受診者の併発症

	年齢・性別	併発症1	併発症2	併発症3	併発症4	併発症5
Y.C.	84歳、女性	脳梗塞	脳神経血管質	糖尿病	高血圧	大腿骨骨折
T.N.	84歳、女性	脳梗塞	脳梗塞	心臓病	水腫	白内障
S.O.	89歳、女性	シェーグレン症候群	白内障	脳脊髄神経	遠視性屈折異常	腎臓病

てきている。その内訳は、当初の訪問検診希望者に減少傾向が大きい(図2)、本年の検診者3名は全員在宅療養中で病院検診であった。すべての患者で5つ以上の併発症に罹患された。今回訪問検診を希望者はなかったがその要因として併発症に対する定期的受診の必要性があることが関連しているかもしれない(表)。

#### D. 考察

高齢化に伴い、スモン検診者数の減少が進んでいる。佐賀県においては平成12年度よりスモン検診に訪問検診を導入した。病院検診・訪問検診は対象者の希望

に従い、訪問検診を希望された方の理由は住居が遠方のためであった。19年の経過において、訪問検診者の減少が進んだが、その原因は主なものは死亡によるものであった。また、平成30年度に検診希望された3名については全員複数の併発症に罹患しており、総合病院での検診を希望され、今回初めて訪問検診者はなかった。

#### E. 結論

1. 平成12年度から30年度までの19年間の佐賀県におけるスモン患者の検診結果を比較検討した。
2. 高齢化に伴い、スモン検診者数の減少が進んだが、今回訪問検診者はなく、全員病院受診時に検診を行なった。
3. すべての検診希望者は複数の疾患を併発しており、総合病院を定期的に受診する必要性があった。

#### G. 研究発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし